



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月13日

上場会社名 アララ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4015 URL <https://www.arara.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 井上 浩毅 TEL (03) 5414-3611
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の業績 (2020年9月1日~2020年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	329	—	17	—	2	—	4	—
2020年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	0.69	0.62
2020年8月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2020年8月期第1四半期について、四半期財務諸表を作成していないため、2020年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年8月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2020年11月19日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年8月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2020年9月2日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2021年8月期第1四半期	1,555	931	931	420	59.9	
2020年8月期	1,054	420	420	—	39.9	

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 931百万円 2020年8月期 420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,472	22.6	263	92.2	246	73.8	222	54.3	36.20

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2021年8月期（予想）の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年9月11日付で行使の新株予約権59,000株、2020年11月18日に払込の公募増資381,100株、2020年11月20日から12月31日までに行使した新株予約権17,200株及び2020年12月22日に払込のオーバーアロットメントによる第三者割当増資118,900株を含めて算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	6,142,600株	2020年8月期	5,685,300株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	－株	2020年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	5,793,959株	2020年8月期1Q	－株

（注）1. 当社は、2020年8月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年8月期第1四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。

2. 当社は、2020年9月2日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大など、国内外の経済活動は総じて大幅に抑制されており、また、アメリカ大統領選挙や米中貿易摩擦の長期化等の不安定要素の収束が見通せず、依然として不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界においては、テレワークや巣籠もり需要の増加によりインターネット関連サービスやセキュリティサービスが比較的堅調に推移しております。このような環境において、当社では、引き続き顧客との年間契約に基づくリカーリングサービスの提供による収益増加を最重要戦略とし、積極的な顧客獲得対策及び解約防止対策を実施いたしました。また、当第1四半期累計期間における新型コロナウイルス感染症の業績への影響につきましては、一部に営業活動の停滞による受注の遅れ等はあったものの、全般的には軽微なものとなっております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は329,926千円、営業利益は17,053千円、経常利益は2,704千円、四半期純利益は4,008千円となりました。

主なセグメントの概況は以下のとおりであります。

a. キャッシュレスサービス事業

「キャッシュレスサービス事業」については、経済産業省主導の「キャッシュレス・消費者還元事業」が2020年6月末日で終了いたしました。キャッシュレスサービスの需要は引き続き堅調で、スーパーマーケットを中心とした営業活動を継続いたしました。当第1四半期累計期間における顧客数は181社（前事業年度末比7.7%増）、累計エンドユーザー数は11,203千人（前事業年度末比7.2%増）、当社が取扱うハウス電子マネー決済額は52,741百万円（前年同期は39,906百万円）と順調に推移いたしました。

その結果、同サービスの当第1四半期累計期間の売上高は169,200千円、セグメント利益は43,960千円となりました。

b. メッセージングサービス事業

「メッセージングサービス事業」については、引き続きデータマーケティングサービスを提供する企業やメール活用セミナーの参加企業に対し、積極的な営業活動を行いました。一方で顧客都合による解約やサービス開始の遅れ等が発生いたしました。当第1四半期累計期間の月次平均解約率は1.9%（前事業年度は0.9%）、当第1四半期末における3年以上継続取引社数は157社（前事業年度末は153社）となりました。

その結果、同サービスの当第1四半期累計期間の売上高は124,250千円、セグメント利益は53,306千円となりました。

c. データセキュリティサービス事業

「データセキュリティサービス事業」については、従来製品の営業活動に加え、当社が蓄積した個人情報管理のノウハウを活かした個人情報管理診断レポートサービスの提供を開始し、新たな顧客開拓を行いました。当第1四半期累計期間の月次平均解約率は0.8%（前事業年度は1.0%）となりました。

その結果、同サービスの当第1四半期累計期間の売上高は27,638千円、セグメント利益は7,474千円となりました。

d. その他の事業（ARサービス）

「その他の事業」のARサービスでは、主に米国Facebook社が展開する「Spark AR」向けのコンテンツ制作ビジネスの営業活動を行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種イベントの延期や中止の影響を受け、受注が伸び悩みました。

この結果、同サービスの当第1四半期累計期間の売上高は8,836千円、セグメント損失は7,179千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は1,555,360千円となり、前事業年度末に比べ500,467千円増加いたしました。

このうち、流動資産は1,328,996千円(前事業年度末から484,633千円の増加)となりました。これは主として、現金及び預金が461,460千円、売掛金が17,010千円、前払費用が4,996千円それぞれ増加し、仕掛品が692千円減少したことによるものです。

固定資産は226,363千円(前事業年度末から15,833千円の増加)となりました。これは主として、工具、器具及び備品(純額)が2,936千円、ソフトウェアが13,372千円それぞれ増加し、建物(純額)が794千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は623,814千円となり、前事業年度末に比べ10,456千円減少いたしました。これは主として、買掛金が17,884千円、未払金が12,961千円それぞれ増加し、未払法人税等が11,009千円、未払消費税等が17,986千円、前受金が4,513千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は931,545千円となり、前事業年度末から510,923千円増加いたしました。これは公募による増資等により資本金と資本剰余金がそれぞれ253,457千円増加し、四半期純利益の計上により利益剰余金が4,008千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年11月19日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,347	1,161,808
売掛金	133,445	150,455
仕掛品	692	—
前払費用	9,718	14,715
その他	3,652	4,008
貸倒引当金	△3,493	△1,991
流動資産合計	844,362	1,328,996
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,987	15,192
工具、器具及び備品(純額)	6,117	9,054
有形固定資産合計	22,105	24,247
無形固定資産		
ソフトウェア	102,623	115,995
その他	0	0
無形固定資産合計	102,623	115,995
投資その他の資産		
投資有価証券	325	325
長期貸付金	15,400	15,400
敷金	31,110	30,947
保険積立金	7,614	8,122
繰延税金資産	46,507	46,507
その他	479	452
貸倒引当金	△15,635	△15,635
投資その他の資産合計	85,801	86,120
固定資産合計	210,529	226,363
資産合計	1,054,892	1,555,360

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,479	39,364
短期借入金	100,000	100,000
未払金	20,210	33,171
未払費用	23,304	19,476
未払法人税等	16,026	5,016
未払消費税等	32,876	14,889
前受金	118,478	113,965
預り金	301,895	297,930
流動負債合計	634,271	623,814
負債合計	634,271	623,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,500	584,957
資本剰余金	331,692	585,150
利益剰余金	△242,571	△238,563
株主資本合計	420,621	931,545
純資産合計	420,621	931,545
負債純資産合計	1,054,892	1,555,360

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	329,926
売上原価	139,193
売上総利益	190,733
販売費及び一般管理費	173,680
営業利益	17,053
営業外収益	
受取利息	7
貸倒引当金戻入額	1,500
その他	56
営業外収益合計	1,563
営業外費用	
支払利息	327
上場関連費用	15,531
その他	53
営業外費用合計	15,912
経常利益	2,704
税引前四半期純利益	2,704
法人税等	△1,304
四半期純利益	4,008

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月19日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。株式上場にあたり、2020年11月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式381,100株（発行価格1,400円、引受価額1,288円、資本金組入額644円）の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ245,428千円増加しております。

この結果、新株予約権の行使による増加分を含めて、当第1四半期会計期間末において資本金及び資本準備金はそれぞれ584,957千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	キャッシュ レスサービ ス事業	メッセー ジサービ ス事業	データセキ ュリティサ ービス事業	その他の事 業 (ARサー ビス)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	169,200	124,250	27,638	8,836	329,926	—	329,926
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	169,200	124,250	27,638	8,836	329,926	—	329,926
セグメント利益 又は損失(△)	43,960	53,306	7,474	△7,179	97,561	△80,508	17,053

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,508千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。